

かさい 教育 ネット



(2015.11.1発行)

No.26

平成27年度 加西っ子の学力・学習状況の報告

平成27年4月21日（火）に実施された「平成27年度全国学力・学習状況調査（学力テスト）」の結果を踏まえ、加西っ子の学力・学習状況について報告します。



① 全国学力・学習状況調査について

全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、学力と学習状況の両面からの調査によって、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上をめざしています。

今年度は教科に関する調査として、国語、算数・数学、理科について実施されました。国語、算数・数学は、それぞれ主として「知識」に関する問題（A問題）と主として「活用」に関する問題（B問題）について、理科は、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うという出題形式でした。また、生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査も実施されました。

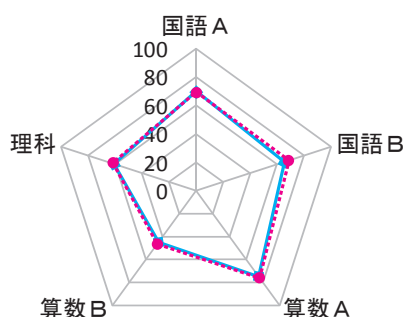


② 加西っ子の学力に関する状況について —「教科に関する調査」結果から—

小学校6年生、中学校3年生の国語、算数・数学、理科について教科に関する調査の結果を基に、加西っ子の身に付いている学力や今後身に付けさせたい学力を分析・考察しました。小・中学校の加西っ子の学力と全国平均を比べてみると以下のとおりでした。

小学校6年生

▼ 全国平均との比較

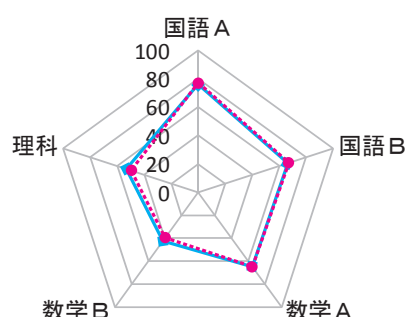


国語A(知識)…同程度
 国語B(活用)…**高い**
 算数A(知識)…**やや高い**
 算数B(活用)…**やや高い**
 理科…**やや高い**

— 全国
 加西市

中学校3年生

▼ 全国平均との比較



国語A(知識)…**やや高い**
 国語B(活用)…**やや高い**
 数学A(知識)…同程度
 数学B(活用)…**やや低い**
 理科…**やや低い**

— 全国
 加西市

! check

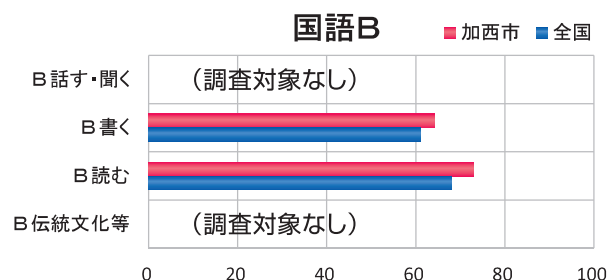
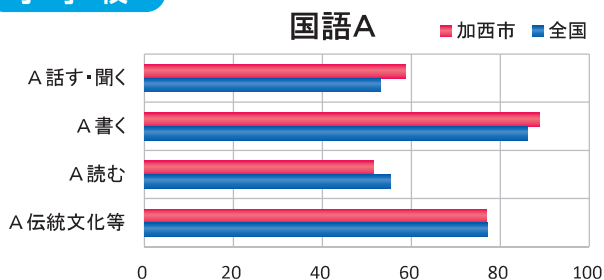
全国平均との比較からは、やや高い数値を示している

加西っ子の学力状況は、小学校において全国平均との比較からは、やや高い数値を示している教科・領域が多く、学力向上に対する手立てに成果が出ています。一方、中学校では、理数教育分野における活用型学力には課題が見られました。

※学力の状況については、各教科・領域ごとに加西市と全国の平均正答率の比較によって把握しています。全国との差が、「±0.0～1.0」を「同程度」、「±1.1～3.0」を「**やや高い**・**やや低い**」、「±3.1～」を「**高い**・**低い**」としています。

国 語

小 学 校



定 着

- ◇漢字を正しく読む基礎的な力が身についています。
- ◇国語A(知識)・B(活用)ともに、「書く」領域について定着傾向に伸びが見られ改善が図られています。

課 題

- ◆根拠となる言葉を引用したり中心となる言葉をとらえたりすることに課題があります。



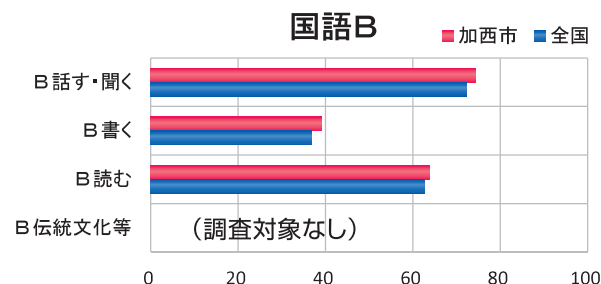
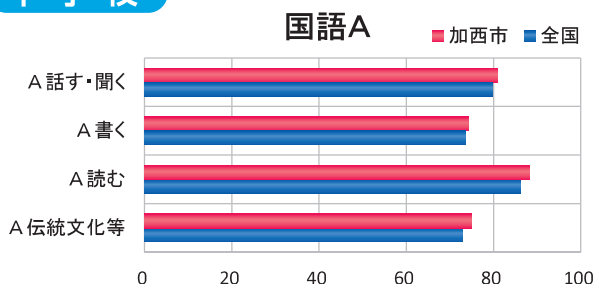
課題の見られた問題例

- ◆「中田さんへのインタビューの様子」の内容をまとめて新聞記事に載せるために、三つの条件に合わせて書く。
- ①文中から必要な言葉を取り出す。
- ②取り出した言葉と内容を合わせて一文に書く。
- ③40字以上70字以内にまとめて書く。

【B活用※1 38.8%／34.7%※2】

「中田とさんへのインタビューの様子」
 送った内容
 あやとりさんのコーナーに参加してよかったわ
 それはね、一年生のみんなに様々な形を教えて
 あげたら喜んでくれたからなの。
 みなさんも準備が大変だったことだろうね。
 町で会ったときにはいつでも声をかけてください。
 今度の案内も楽しみにしていますね。
 中田とさん
 表紙や声の調子、
 目を細めている
 明るい声

中 学 校



定 着

- ◇「書くこと」領域について、全国平均よりも定着率が高いです。
- ◇語句の意味や漢字の読みなど基本的な言葉の力が身に付いています。

課 題

- ◆資料から適切な情報を得たり根拠を明確にしたりしながら自分の考えを書くことに苦手意識が見られます。



定着傾向が認められた問題例

- ◇漢字の読み
「シャツの袖(そで)をまくる」
【A知識※3 97.1%／94.1%】

- ◇適切な語句を選択する。
「将来は、気象予報士になりたい。」
【A知識 98.0%／97.6%】

- ◇「なぜ、配水管はS字形になっているのか。」という問いに対して適切な答えを選択できる。
【A知識 94.9%／93.6%】



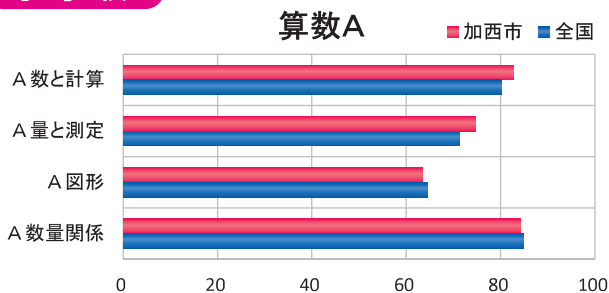
※1「B活用」→「B(主として活用に関する問題)」
 ※2「38.8%／34.7%」→「加西市の正答率／全国の正答率」
 ※3「A知識」→「A(主として知識に関する問題)」

※2「38.8%／34.7%」→「加西市の正答率／全国の正答率」

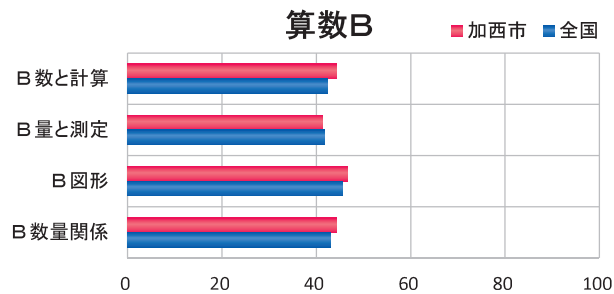
算数・数学

小学校

算数A



算数B



定着が見られた項目・問題

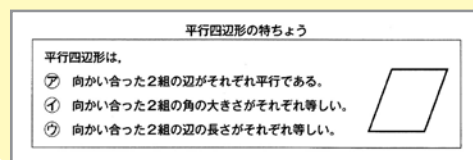
- ◇整数や分数の四則計算や計算の順序のきまりを正しく理解して計算する力が身についています。

課題が見られた項目・問題

- ◆「割合」「もとにする量」「くらべる量」の関係をとらえ、「くらべる量」と「割合」から「もとにする量」を求めることに課題があります。
- ◆記述式の問題形式を苦手とし、無解答率も高い傾向にあります

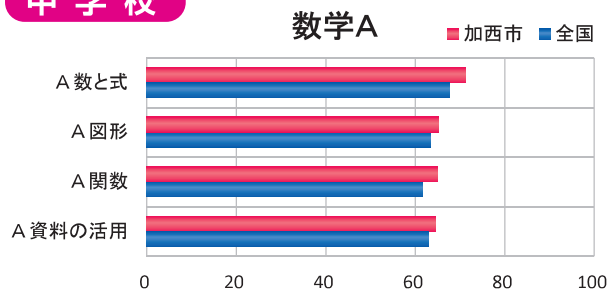
定着傾向が認められた問題例

- ◇繰り上がりのある加法「 $28+72$ 」
【A知識 98.3%／98.2%】
- ◇除数が整数である分数の除法「 $\frac{5}{6} \div 7$ 」
【A知識 92.0%／84.2%】
- ◇平行四辺形を構成する辺の性質を理解している。
【B活用 96.6%／95.2%】

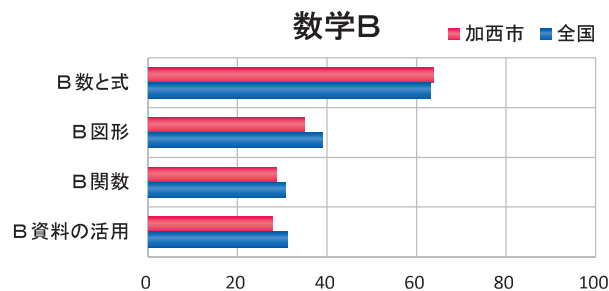


中学校

数学A



数学B



定着が見られた項目・問題

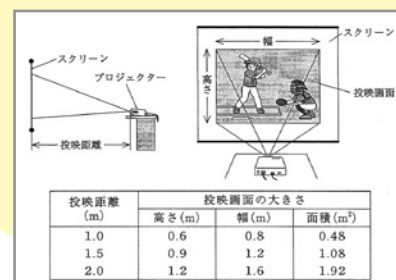
- ◇加減乗除を含む正の数と負の数の計算や空間図形の読み取りなど、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いています。

課題の見た項目・問題

- ◆資料を活用し、数学的な表現を用いて判断の理由を説明することに課題があります。
- ◆小学校同様、記述式の問題形式を苦手とし、無解答率も高い傾向にあります。

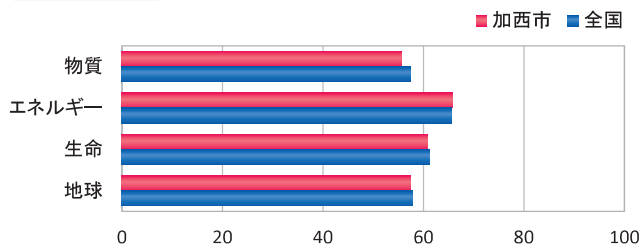
課題の見た問題例

- ◆映像の明るさを2倍にするための映像画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する。
【B活用 8.6%／11.7%】



理 科

小 学 校



定 着

◇科学的な言葉や法則を使って考えたり説明したりすることに定着傾向が見られます。

課 題

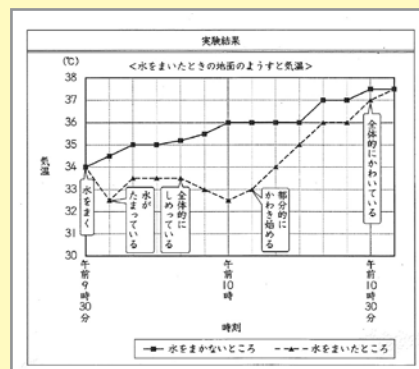
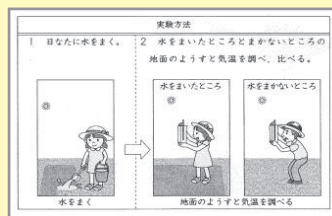
- ◆観察、実験の器具について、適切な操作技能に関する知識の定着に課題があります。
- ◆観察、実験の結果を整理し考察し、分析した内容を記述することに課題があります。



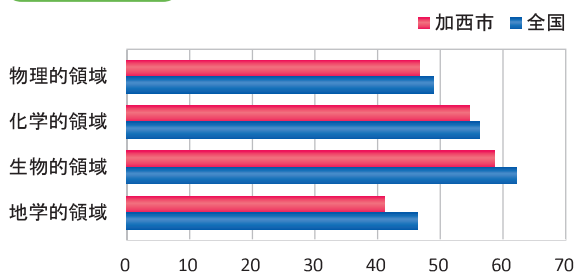
定着傾向が認められた問題例

◇地面に水をまいたときの地面の様子と実験結果のグラフを関連付けながら考察し、適切な内容を選ぶ。

【活用 86.2%/84.2%】



中 学 校



定 着

◇物質を化学式で表したり、化学変化を表したグラフや実験結果を示した表から分析・解釈し変化を見いだしたりすることは良好です。

課 題

- ◆実験結果を数値で示した表などを分析して解釈し、規則性を見いだすことに課題があります。
- ◆課題に即した実験を計画したり考察したりすることに苦手意識があります。

課題の

見られた問題例

- ◆島の上空だけに雲ができる理由について、複数の資料をもとに考察し、その成り立ちを説明した文章の誤りに気づき修正する。

【活用 15.0%/14.5%】

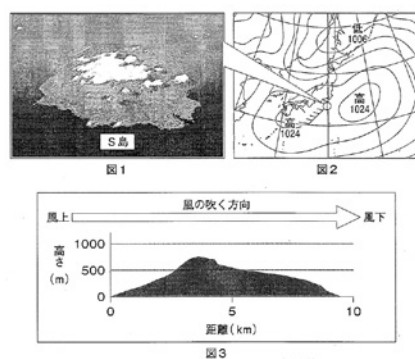


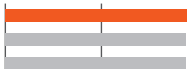
表	月 日	1月23日	1月24日	1月25日
1日の平均気温(℃)		5.9	9.2	12.6
1日の平均湿度(%)		66	71	64

ア 水蒸気を比較的多くふくんだ空気のかたまりは、S島の山の斜面に沿って上昇する。
イ 上昇した空気のかたまりが膨張し、温度が下がる。
ウ 空気のかたまりの温度が、露点に達する。
エ 水滴が冷やされて水蒸気になり、雲ができる。

③ 加西っ子の生活習慣や学習習慣について —「児童・生徒質問紙調査」結果から—

子ども達の学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち、特徴のある項目について、平成25～27年度の数値を比べてみました。

(H27の結果のうち、「★」は3年間で最も良好、「▲」は3年間で最も課題が見られる項目です)

質問内容	小学校6年生			中学校3年生		
①朝食を毎日食べている	H27 H26 H25		97.7% ★ 97.2% 97.2%	H27 H26 H25		93.4% ▲ 93.7% 95.6%
②ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	H27 H26 H25		95.7% ★ 95.1% 90.9%	H27 H26 H25		94.4% ★ 94.1% 94.0%
③将来の夢や目標を持っている	H27 H26 H25		85.9% 86.4% 85.4%	H27 H26 H25		66.2% 66.0% 71.0%
④自分には良いところがあると思う	H27 H26 H25		72.3% 77.1% 69.2%	H27 H26 H25		57.9% ▲ 59.8% 59.3%
⑤いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	H27 H26 H25		95.9% 97.4% 95.6%	H27 H26 H25		95.1% ★ 94.7% 93.3%
⑥平日、テレビやDVDを見る時間は、1時間以下である	H27 H26 H25		15.6% ★ 10.8% 11.9%	H27 H26 H25		16.9% 11.7% 17.8%
⑦平日、テレビゲームや携帯ゲーム等をする時間は1時間以下である	H27 H26 H25		51.2% ★ 45.7% 44.7%	H27 H26 H25		46.3% 38.1% 49.5%
⑧家で、学校の宿題をしている	H27 H26 H25		98.5% ★ 97.4% 97.6%	H27 H26 H25		91.2% ★ 84.8% 88.8%
⑨家で、学校の授業の予習をしている	H27 H26 H25		45.0% ★ 40.1% 38.4%	H27 H26 H25		31.9% ★ 28.4% 24.5%
⑩家で、学校の授業の復習をしている	H27 H26 H25		44.7% 44.7% 40.0%	H27 H26 H25		42.9% ★ 37.7% 36.8%
⑪読書が好きである	H27 H26 H25		62.0% ▲ 73.1% 62.1%	H27 H26 H25		68.9% ▲ 70.5% 69.9%
⑫地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある (テレビやニュースへの関心を含む)	H27 H26 H25		57.0% 60.9% 45.7%	H27 H26 H25		54.9% ★ 51.1% 47.7%

! check

以上の結果から、特に注目すべきは、

- ・ 平日にテレビやDVDを見たり、携帯ゲーム等をしたりする時間の減少
- ・ 予習や復習など家庭学習に取り組む時間の増加

です。これは、これまでの学力テストの結果を受け、加西市教育委員会や各校で呼びかけてきた子どもたちの学習環境の充実について、具体的な手立てが家庭の協力も得ながら成果として現れ始めていることを示しています。



さらに、子どもたちが自分自身の夢を実現できるよう、学校と家庭と地域が連携をしながら、次の取組を推進していきましょう。

④ 加西っ子の学力向上に向けて ―学校・家庭・地域の連携をもとに―



携帯ゲーム等の時間を減らし学びの時間をつくり出しましょう

子どもたちにとって、携帯ゲームやインターネットの利用は、今や生活の一部となっています。これにより、家族との会話や睡眠時間などに費やしてきた時間が減少し、子どもたちの生活にマイナス影響が出てきているのではないかと心配されるところです。

そこで、是非、家庭で「**ノー・メディア・デー**」を設定したり、**テレビやDVDを見る時間やインターネット、携帯ゲーム等を使うときのルール**を決めたりし、家族みんなで学びの時間を作り出しましょう。

「おやこで読書」で知識と感性を育みましょう

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、「生きる力」を育む上で欠くことのできないものです。学校によっては、週末などに「**親子読書タイム**」を設けたり、**子どもが親や家族に読み聞かせ**をしたりする取組も見られます。ノー・メディア・デーの取組でできた時間を有効活用し、子どもたちの学ぶ意欲や生きる力の基盤を、学校や家庭での読書活動の推進と充実によって身に付けていきましょう。

本を読むことで「人間とは？」等を考えるきっかけになるなんて!! やっぱ本はすばらしいと思いました。なかなか一人で本を読まないで、親子読書でいっしょに読めてうれしかったです。
(保護者の感想より)



「家庭学習」で自立して未来に挑戦する力をつけましょう



子どもたちの好奇心や探究心を培い、自ら学ぼうとする力を育てていくためには、家庭学習は不可欠です。加西市では、市内全小中学生に「**家庭学習ハンドブック**」を配布しています。その中で「家庭学習習慣の3つのポイント」として、

①テレビを消して集中する。 ②整頓した机の上です。 ③よい姿勢です。

を挙げています。子どもたちの学力が定着するように、学校では、教材の工夫や教師の指導力の向上に努めています。家庭においても、生活のリズムを整え、子どもたちのがんばりを賞賛したり励ましたりしながら、子どもたちが自立して未来に挑戦する力を大きく育てていきましょう。

⑤ 加西市における学力向上の取組について

加西市では、子どもたちの学力向上について、各学校園の特色ある取組をサポートしながら、以下の取組を推進しています。

① 幼小・小中連携教育の推進

- ・5歳児と小学校1年生の交流学習
- ・中学校を舞台にした小小連携・小中連携学習の実施や中学校教員による小学校への乗り入れ授業の実施

② 生きる力を育む体験学習の活性化

- ・環境体験学習(小3)、自然学校(小5)、わくわくオーケストラ(中1)、トライやる・ウィーク(中2)等

③ スクールサポーター事業の拡大

- ・スクールアシスタントやヤングアドバイザー等の学習等の支援員の全校配置

④ 「かさいがんばりタイム」の実施

- ・市内4中学校における放課後補充学習の実施

⑤ 外国語(英語)活動の展開

- ・英語指導助手の市内全小・中・特別支援学校及び幼保こども園への配置
- ・かさい英語村(1泊2日の英語キャンプ)の開催

⑥ 「加西っ子の生活習慣 あ・い・う・え・お」運動の啓発

- ・あいさつ、食事、睡眠、お手伝い、読書を中心とした生活習慣の定着促進

「加西っ子の生活習慣 あ・い・う・え・お」運動		
あ	か る い	あいさつ
い	っしょに	食 事
う	ー ん と	睡 眠
え	が お で	お手伝い
お	や こ で	読 書

